

# 岬町農業委員会議事録

岬町農業委員会  
(令和3年10期)

日 時 令和 3 年 10 月 5 日 (木) 午後 13 時 30 分～

場 所 岬町役場 2 階会議室

出席委員及び欠席委員内訳

番号	氏名	出欠	番号	氏名	出欠
会長	下出 忠	○	6	大道 明	○
職務代理	田中 悟	○	7	坂原 勇治	○
1	松尾 清次	○	8	茂野 憲一	○
2	松尾 善裕	○	9	辻 康一	◎
3	前田 良明	○	10	寺田 伸之	×
4	車谷 雅美	○	11	木下 喜久子	◎
5	奥野 久巳	○	12	川端 修	○

(出欠欄・・・○→出席、×→欠席、◎→出席かつ議事録署名委員)

(議長は会長が務める)

委員会参加者

事務局長 新保 太基

書記 大西 雄太

傍聴者 なし

【新型コロナウイルス感染拡大防止対策のため以下の取組みを実施】

- ・ 議案書等を事前配布、質疑応答の事前実施等、質疑時間の短縮に努める。
- ・ 会議に入る際は、アルコール消毒、マスクの着用の徹底。
- ・ 一定以上の座席間隔を確保。
- ・ 会場の喚起の徹底。

( 開 会 )

---

(議長) 挨拶

本日の会議の出席数の報告 委員 14 名中 13 名出席

過半数に達しているため、農業委員会に関する規程により本会議が成立していることを宣言します。

本日の議事録署名委員は、9 番 辻委員、11 番木下委員にお願いします。

それでは、議案の審議に移ります、議案第 1 号農地法第 3 条の規定に基づく許可申請について、事務局より説明お願いいたします。

(事務局) 事務局より説明します。

本件は農業を目的とした所有権移転及び賃貸借権の設定に係る農地法第 3 条の規定による許可申請です。所有権移転を行う所在地は、岬町深日●●他 5 筆、地目は田、賃貸借権の設定を行う所在地は岬町深日●●他 1 筆、地目は田、合計 2564.91㎡の所有権移転と賃貸借権の設定となります。譲受人は、農業を営む個人で、申請地を譲受け及び借受けて米及び果樹を育てる計画を立てています。譲受人の経歴としましては、農業経験が 40 年あり、世帯員 3 名とともに年間の 150 日程度農業に従事しています。申請地は徒歩で 5 分程度の距離に位置しています。営農面積としまして、所有地と今般の申請地を併せ 20a を超えます。なお現在も所有地にて営農に取り組まれており、営農状況も問題ないと思われます。

以上ご審議の程よろしくをお願いします。

(議長) ただいま説明のあった議案についてご質問ございませんか。

なければ、本件は許可してよろしいか。

(委員一同) 異議なし。

(議長) ご異議がないようですので、本件は許可いたします。続きまして、議案第 2 号農地法第 5 条第 1 項第 7 号の規定による届出について、事務局より説明をお願いします。

(事務局) 事務局より説明します。

本件は農地法第 5 条第 1 項第 7 号の規定による届出です。所在地が深日●●、地目が田、面積が 135㎡で、市街化区域内にある農地の転用の届出です。譲受人は届出地の農地を譲受け、住宅建築の用に供するため農地を転用します。

届出にあたり、記載内容必要書類の完備されていることをご報告いたします。以上です。

(議長) ただいま説明のあった議案についてご質問ございませんか。

なければ、本件は承認してよろしいか。

(委員一同) 異議なし。

(議長) ご異議がないようですので、本件は承認いたします。続きまして議案第 3 号農地法第 4 条第 1 項第 8 号の規定による届出について、事務局より説明をお願いします。

(事務局) 事務局より説明します。

本件は農地法第 4 条第 1 項第 8 号の規定による届出です。所在地が淡輪●●、地目が田、面積が 410㎡で、市街化区域内にある農地の転用の届出です。届出人は農地を住宅建築の用に供するため農地を転用します。届出にあたり、記載内容、必要書類の完備されていることをご報告いたします。以上です。

(議長) ただいま説明のあった議案についてご質問ございませんか。  
なければ、本件は承認してよろしいか。

(委員一同) 異議なし。

(議長) ご異議がないようですので、本件は承認いたします。続きまして、議案第4号岬町農業委員会農地等の利用の最適化の推進に関する指針の制定について、事務局より説明をお願いします。

(事務局) 事務局より説明します。

現在制定されている指針について、農業委員の改選に合わせて見直しを行うとしております。今回農業委員の改選が6月にありましたので、その見直しを行うものです。最適化交付金にも大きく関係してきますので、大阪府の意見も聴取して案の方を作成いたしました。基本的な考え方としては、農業委員会等に関する法律の改正法が施行され、農業委員会においては農地等の利用の最適化の推進が最も重要な必須事務として明確に位置付けられました。現在も行っていると思いますが、管内農地の利用状況調査及び利用意向調査を行い、地域の実態に則した農地の利用調整を図る必要がございます。よって法第7条第1項に基づいて、農業委員が委員活動を通じて農地等の利用の最適化が一体的に進んでいくよう、岬町農業委員会の指針として具体的な目標と推進方法を以下の通り定めるとしてしております。なおこの指針は農業委員の改選期に合わせた計画とし、改選期である3年毎に検証および見直しを行うとしております。また単年度の具体的な活動につきましては、農業委員会事務の実施状況等の公表についてという表がございまして、目標及びその達成に向けた活動計画というのも毎年定めておりますのでそちらの通りとするとしております。第2、具体的な目標と推進方法につきましては、表を見ていただいたら令和3年3月の現状の数値、管内農地の面積、遊休農地の面積、遊休農地の割合が記載されております。目標値の設定は3年後の改選期に目標値を設定しております。現状の遊休農地面積が15.14haとあるんですが、これの1%を解消していくことを目標にしています。担い手等がない岬町ではあまり大きな数字設定は難しいのかなと考えております。事務局案としまして1%、3年で3%を対象を目標に設定しております。管内農地の欄ですが令和6年には減少しているんですが、こちら年1%ずつ減少していくという見込みで減らしています。遊休農地の割合としましては3%ダウンするわけではないですがこちらは管内農地面積等も下がっていますので少しずつ遊休農地の割合も緩やかでありますが減っていくという、目標設定をさせていただいています。新旧対照表で左が改正後、右が改正前、下段の2、第2具体的と目標の推進方法のところ、太字下線を引いている部分を改正前から変更しております。大きく変わった点としましては離農者の復帰について、前回は謳っていなかったのが、岬町として現実的に可能性が高いのは年配になってきたため農業を辞めた人に助言、指導して再度離農から復帰していただくという方が即していると考えています。担い手の育成・発掘も大事ですが、可能性としてはこちらの方が高いのかなというところで離農者の復帰と入れさせていただいています。その他大きくは変えておりません。続いて2、担い手の農地利用集積について、こちらも現状の数値は今現在の実績の数字が入っております。目標値が令和6年3月先ほどと同様に3年後を見越した数値なっています。管内農地面積については先ほどと考え方が

一緒ですので割愛させていただきます。集積面積・利用集積につきまして遊んでいる農地が増えてきて、例えばAさんが農業されていてその遊んでいる農地をAさんに集約するといったことが昔にやったことがあるという事で、現在も0.11haの実績がずっと残っている状態です。今は利用集積が出来ていないというところもありますので、大阪府からもあまりに大きな目標設定は辞めた方がいいんじゃないかとアドバイスをいただいております、こちらと同じく現状の集積面積の1%というところで0.01haずつ3年間かけて増やせたらというところで、目標を設定しております。大まかな改正点については以上でございます。ご審議の程よろしく申し上げます。

(議長) ただいま説明のあった議案についてご質問ございませんか。

ご意見が無いようですが、集積面積等については、岬町の現状と照らして適切ではないかと思いたいますがいかがですか。

(6番) 高齢、かつ、後継者がいない農家が多いというのが現状ですので、あまり大きな目標は難しいだろうと思います。

(議長) 他にご質問等はございませんか。

無いようですので、本件は承認してよろしいでしょうか。

(委員一同) 異議なし。

(議長) 以上を持ちまして本日の日程はすべて終了いたしましたので閉会します。ありがとうございました。

---

( 閉 会 )